regimen CAG療法　　疾患名 急性骨髄性白血病

regimen 詳細

aclarubicin	14mg/m2/日	D1～D4	
アクラシノン			
cytarabine	10mg/m2/12h	D1～D14	S.C.
キロサイド			
G-CSF	200μg/m2/日	D1～D14	S.C.
フィルグラスチムＢＳ			

特記事項

・Ara-C及びG-CSFは皮下注を原則とするが、持続点滴でもよい.・70歳以上に対するACRの投与量は10mg/m2/日とする.・D7または8の血液または骨髄での芽球の残存量が高ければ、D8～D10に適宜ACRを追加してもよい.・E本治療中に重症感染症などの高度の合併症を生じた場合、治療を中止しても良いが、できるだけD8までは施行する.・治療終了後の白血球減少期に重症感染症が発症した場合には、骨髄が低形成で白血病細胞が著減していれば、G-CSFを使用しても良いが、できるだけ短期間とする.・第１コースの効果判定は原則として化学療法終了後4週間以内に行う.・1コースでCRは得られなかったが、効果が得られそうな症例では少なくとも2コースまでトライする.その場合、ACRの投与期間を6～7日まで延長する.